

第 290 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 25 年 4 月 2 日 (火) 11:50~13:30
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] 畑中摩美のまみの「す」
[放送日時] 平成 25 年 3 月 29 日(金) 18:30~18:55
[出演者] 畑中摩美
4. 出席者
[委員] 副委員長 谷川眞美、委員 木宮敬信
委員 小野晃司、委員 山本りさ
[会社] 代表取締役社長 祐嶋繁一
取締役業務推進本部長兼営業推進部長 竹内照夫
放送本部長兼編成制作部長 久保田克敏
編成制作部副部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 委員委嘱
- 30 周年番組改編
- 新入社員採用状況
- 平成 24 年度決算の状況
- WEB サーバー、コンテンツのリニューアル

6. 番組審議

[対象番組] 畑中摩美のまみの「す」

[放送日時] 平成 25 年 3 月 29 日(金) 18:30~18:55

[番組内容] 浜松市在住で、「K-MIX 神谷幸恵の独立宣言 ザ☆オーディション Vol.3」でグランプリを獲得したシンガー・ソングライター、畑中摩美の魅力を「素」顔に迫ることで掘り出していくプログラム。番組は「リラックス & フォーカス」をコンセプトに、本物志向のカルチャー情報と、畑中のトークと心地よい音楽を届ける。

[聴取・合評での主な意見]

木宮委員 台本を上手に、スムーズに進行している。台本を読んでいるという感じはあまりしない。番組をきっちり作りこんでいる感じがするが、それがいいことなのか、よくないことなのか、の判断の分かれるところだ。天竜浜名湖鉄道も話をしているが、親近感は沸く。ただ、静岡県内全域に伝えることを考慮すると、もう少し情報性が欲しい。リスナーが畑中さ

んにアーティスト性を求めているのか、パーソナリティ性を求めているのか、何を求めているのかによっても、番組のコンセプトや作り方は変わってくる。今のままだと、彼女でなくても番組が成立する感じがする。彼女のアーティストとしての人気が高まり、存在感がアップしていく過程で、アーティストとしての個性を打ち出せる番組、彼女だからできる番組、という方向性を打ち出していくべき。畑中さんは実年齢よりも、もう少し若い、20代半ばに感じる。エンディングのBGMは存在感、パンチがありすぎて、BGMに向いていない。もっとサラットしたものの方がよい。

小野委員

オープニングとエンディングでは音がこもって聴き取りにくかった。早口でさらっと流してしゃべるようなところもあり、もう少し丁寧に、リスナーが聴き取りやすいような話し方にしたほうがよい。アーティストとしての素顔の魅力をもっと引き出した方がよい。天竜浜名湖鉄道の話も、もっと音楽と絡めてみたり、ただの旅人ではなく、ミュージシャンとしての視点が欲しかった。畑中さんの個性をもっと出した方がよい。ファンになってもらうための工夫があったほうがよい。それがなければ誰がやっても同じ、という感じになってしまう。

山本委員

全体的に早口で、後になってきて耳が慣れてきたという感じ。ジョン・デンバーの曲紹介の際、もう少し曲の説明が欲しかった。弾き語りの演奏は、ライブ感があってよかった。天竜浜名湖鉄道のトークは、景色が伝わってきてよかった。

谷川副委員長

オープニングが聴き辛かった。アーティストのトークとしては、言葉の数が多く、しっかりしているが、もう少しゆっくりとしゃべった方がよい。慌しく聴こえるところがある。まだしゃべることに慣れておらず、気を使ってしゃべっている気がする。K-MIXの若いパーソナリティがレポートをするのと比較して、全体のまとめ方が上手。「いまどきのアーティスト」とは違った個性を感じる。最近は東京に出て全国レベルで活躍するという考え方ではなく、彼女のように地元とその周辺で活動していくというアーティストも多いが、そういうスタンス、意欲は大切にすべきだ。

会社サイド

前回（第289回）では、番組に対して概ね良い評価をいただきました。4月から放送日時が変更になりますが、引き続きアーティストの個性を引き出した番組づくりに取り組みます。ます。今回（第290回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

7. 次回開催日 平成 25 年 5 月 7 日 (火) 16:00~17:30 を予定

以上

番組審議会副委員長
谷 川 眞 美